

NCCU NEWS

埼玉支部のみなさんへ

埼玉 第 8 号

2025 年 1 0 月 1 5 日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 埼玉支部長 柴崎森夫

編集人 東北・北関東総支部常任 溝口雅順

連絡先 担当 溝口 TEL:03-5730-9381

FAX:03-5730-9382

川越市議会 片野ひろたか議員 意見書とりまとめ、国への提出へ！

訪問介護の基本報酬引下げ撤回と
介護報酬引上げの再改定を
早急に行うことを求める意見書

UAゼンセン
議員ネットワーク



引下げ撤回！報酬引上げ！

→意見書本編に飛びます。

片野広隆

かたのひろたか

川越市議会 6 期（令和 7 年 6 月）

議会運営委員会 委員長

文化教育常任委員会 委員



訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

3 年に一度の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が昨年 4 月から引き下げられた。介護報酬は介護保険から介護事業所に支払われるが、今回の引下げで訪問介護事業所、とりわけ小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になるおそれがある。2024 年度に廃業した訪問介護事業所は、埼玉県内で 82 件、川越市では 5 件となり、ほとんどが地域に密着した小規模・零細事業所である。

厚生労働省は引下げの理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことを挙げているが、これはヘルパーが効率的に訪問できる高齢者の集合住宅併設型の事業所や都市部の大手事業所が利益率の平均値を引き上げているものであり、実態からかけ離れている。

訪問介護は特に人手不足が深刻である。介護報酬が引き下げられた結果、ヘルパーの給与は常勤でも全産業平均を大幅に下回る。

政府は、2024 年度の介護報酬改定で 2.5%、2025 年度に 2.0% のベースアップにつながるよう加算率の引上げ等行ったとしているが、他産業の賃上げ率を考えれば政府の処遇改善案は不十分である。また、埼玉県の特定最低賃金の上昇も含めた支援策が必要であることは明らかである。このままでは介護人材の確保はますます困難になるだけである。

訪問介護事業者の経営の持続や介護を必要としている市民の安心のため、財源確保を図り、訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

9月29日にUAゼンセン埼玉でNCCUを交えて行われた意見交換会での、
埼玉支部委員の意見や現状のNCCUの考えが、反映する内容となりました。

令和 7 年 9 月 29 日

川越市議会

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 宛て

東北・北関東総支部行き:FAX03-5730-9382

NCCUニュース

『 埼玉 第8号 川越市議会 片野ひろたか議員 意見書提出 』

みなさんのご意見をお聞かせください。

勤務先(事業所名):	職種:	氏名:

※上記意見欄の個人情報は組合の活動にのみ利用することとします。

(本人の了解なく会社に開示することはありません)

■ご相談やご質問などは、NCCU 東北・北関東総支部まで直接ご連絡ください。

フリーダイヤル 総合 0120-519-931 / TEL03-5730-9381(平日 9:30~17:00) / FAX03-5730-9382

NCCU ニュースの組合員意見欄に記載された個人情報の取扱いについて(簡易型)

私は NCCU ニュースの組合員意見欄に記載した個人情報の取り扱いについて、『NCCU の個人情報保護方針・個人情報の取扱い(NCCU ホームページに記載)』に同意します。